

# 平成25年度燕市・西蒲原郡教育課程部活動報告

部長 海藤 英紀

1 研究主題 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程編成の工夫

## 2 研究の概要

(1) 第1回研究会 期日：6月5日(水) 会場：吉田小学校

### ① 研究の内容

講演：「県小教研 学習指導改善調査問題「国語」作成の意図」

講師：長岡市立坂之上小学校 教諭 山田 真弘 様

### ② 講演の概要

- ・学習指導改善調査の目的は、「授業をよりよく変えるため」であり、「子どもの考える力を育てるため」である。
- ・国語の調査問題で診断するのは、考える力を育成できているかである。読むことについては、資料などから必要な事柄を収集・選択する力を。書くことについては、構成や述べ方を工夫して説得力のある文章を書く力を診断している。
- ・24年度の結果から児童に付けたいのは次のような力である。読むことについては、複数の資料を関連付ける力、話題に沿って必要な事柄を選択する力。書くことについては、説得力のある文章を書くために、段落を意識した三部構成の型、反論想定のある文を入れること、知識や数値、体験を入れること。指導に当たってはこれらを重視する必要がある。
- ・問題の主旨や児童に付けたい力を分析すると、授業のポイントが見えてくる。授業改善に向けて必要なのは、習得活用を意識した単元構成、教科の枠をこえて鍛えていくこと、苦手を見越した先駆けの指導をすることである。また、正答率の低い問題については、授業の中で意図的、計画的に取り上げて指導する必要がある。

(2) 第2回研究会 期日：12月4日(水) 会場：弥彦小学校

### ① 幼保小の連携について情報交換

- ・小学生による本の読み聞かせ、児童会行事への園児の招待、体験入学時のゲームやものづくりによる交流等、各校から小1プロブレムに対応した活動が紹介された。
- ・1年生のクラス編成にあたっては、園長や年長児担任等にも参加してもらい、生活の様子や友人関係、学習面や行動面等について情報交換をしながら行っている。

### ② 平成26年度教育課程編成に向けての情報交換

- ・年間授業日数、休業日、各学期の始業式と終業式、入学式と卒業式の期日、給食回数等を全体で確認した。その後、各中学校区に分かれて主な学校行事等について調整をした。

### ③ 指導助言(燕市立吉田小学校 海藤英紀校長)

今年度は燕市の最重要課題である学力向上について一定の成果を上げた。しかし、一年きりでは意味がない。継続して成果が上がるように取り組んでいかなければならない。

(3) 今後の課題

各校の成果や課題を部員が共有し、各校が特色ある教育課程の編成を一層推進していくことが必要である。